

(仮称)九品仏地区児童館・保育園整備基本構想(案)検討委員会(第4回)

・日時:2024年2月28日(水)

・場所:九品仏まちづくりセンター区民フロア

区委員:渡邊祐士 (世田谷区子ども・若者部 副参事 児童施策推進担当)	略称:長
区委員:寺西直樹 (世田谷区子ども・若者部 児童課長)	
区委員:井出野彰 (世田谷区立等々力児童館館長)	以上略称:(区委)
地域委員:5名	略称:(地委)
オブザーバー:私立保育園事業予定者(一般社団法人スマイル・キッズ)	略称:(才保)
:区立等々力児童館職員	略称:(才児)
基本構想案作成受託設計者:(株)手塚建築研究所	略称:(設)
検討委員会事務局	略称:(事)

議事内容

【1.前回検討委員会の議事要旨確認】

・第3回検討委員会の議事要旨を確認。(事)

【2.アンケート調査、ワークショップの報告】

・アンケート調査、ワークショップの内容について、基本設計で考慮すべき事項としてまとめたものを報告。(事)

・交通量調査は敷地北側と東側の道路について、車両とバイク、人の通過数を平日と土曜日それぞれで調査した。路上駐車台数も調査した。また後日資料にて結果を共有する。(事)

結果として、環八通りからの車より、駒八通りからの抜け道としての、車の交通量の方が多く、中間説明会での、敷地の北側住民の方の指摘通りだった。また今回計画している施設ができると、人の流れが変わることも想定し、安全対策をする必要がある。(長)

・アンケート、ワークショップについては多大なご協力をいただき感謝します。集計結果を受けて、意見や感想はあるか。(長)

小中学生のアンケート結果を受けて、自分たちの安心できる居場所を求めていると、改めて確認できた。この施設もホッと安心して休める場所になれば良いと感じた。(地委)

ワークショップでは、児童館職員の方が子どもたちの意見を上手く引き出して、意外なものや、本音を聞くことができた。また上手くフィードバックできれば良い。(地委)

子どもたちへのフィードバックは、小中学校や児童館での掲示など、有効な方法をよく検討した上で、設計が進んできた段階で返していきたい。(長)

中学校のワークショップでもやりたいことの意見がたくさん出て、楽しい会になった。現時点の形で取り上げたことだけでも、本人たちは嬉しいと思うので、生徒会に参加する機会に、お伝えできれば良いのではと感じる。(地委)

特に中学生は現時点の資料でも見てくれると思うので、返し方を工夫する。(長)

【3.整備基本構想(案)報告書について】

(1) 建物配置および諸室(機能)ゾーニング(案)について

・建物配置、ゾーニングについて説明。(設)

(2) 敷地・建物内外動線計画について

・敷地、建物内外の動線、各ゾーニング同士や公園とのつながり、地域開放も想定していることを説明。公園と施設が一体的な利用ができるように、協議を始めており、敷地から半径300mの地域住民へ向けてアンケートを配布した。また結果を報告する。(事)

前回の検討委員会で提案があったスロープについては良し悪しがあり、まだ結論が出せないため、基本設計でも検討する。この施設を余すことなく使い切るという意味で、一体的な運用とすることを基本構想の着地点とする。(長)

(ベビーカーの置き場所について)

・近隣の保育園に通う家庭は、来たベビーカーを預けて、そのまま仕事へ行くためベビーカーを置く場所が必要になる。玄関部分に十分な広さはあるか。(地委)

管理面から、ベビーカーは二階の保育園のスペースに置くべきではないか。また、朝から夕方まで置いておくベビーカーと、児童館の子育て支援に来るベビーカーを分ける必要があるのではないか。(地委)

施設全体のことを考え、いただいた意見を元に検討する。(設)

玄関部分は広いことと、二階の保育園にベビーカーを持っていく際のEVのセキュリティをどう運用していくか等、施設全体の計画として検討していく。(長)

保育園から児童館へ遊びに来る際、園児を乗せるカートも駐輪と合わせて、場所を確保する必要があるか。(地委)

保育園児が来る午前中、小学生は来ないので、駐輪場にカートを停めることができる。(区委)

(動線について)

・静的多目的ゾーンと遊戯室を行き来する際に、上下足が交差している。また、公園から直接児童館の館庭に入れる方が良いが、来館者を把握しにくくなる。(区委)

いくつか方法があり、それぞれの場所で靴を脱いで履くことは大事だと、運営上教えること。遊戯室や防音室を下足にして、静的多目的ゾーンでは靴を脱ぐ方法もある。庭を全て砂にして、裸足で走り回れるようにしたこともある。今後検討していく。(設)

鎌田児童館では以前、遊戯室だけ靴を脱ぐことになっていた。改修後は全て土足禁止になっている。

児童館では禁止事項を作りたくなく、0歳児は床も舐めるため、全て靴を脱ぐ方が良い。(才児)

地域開放の観点では、子どもからお年寄りまでの車いす使用者にも使いやすいように、遊戯室は土足が使いやすいのではないかと感じる。(区委)

動線の交差や乳児、車いす使用者への配慮を視野に入れて検討していく。(長)

(公園との関係について)

・児童館の多機能トイレは公園のトイレより安心して使えるため、公園に遊びに来た人も使用するのではないか。(地委)

今の公園のトイレを撤去し、この児童館の中に外からのアクセスできるトイレをつくり、その維持管理を公園緑地課がすることも視野に入れて、検討している。(長)

・児童館へは公園からも直接アクセスできる方が良いが、管理面では把握が難しいため、検討が必要。(区委)

・森の児童館は周りの公園と直接つながっていて建物との関係も含めて、死角がでやすいため、夜に子どもにいたずらをする不審者もいる。見通しも検討が必要。(区委)

公園との関係は今協議中のため、入口の有無や作り方、建物の形状についても協議、検討していく。

(長)

(地域開放、近隣について)

・地域や初めて計画を見る人に対して説明する際は、今の児童館の部屋の大きさと比較できるように示した方が分かりやすい。(地委)

・児童館が休みの月曜は、保育園だけで施設を使えて、地域の人は使えない状態か。保育園が休みの日曜祝日は、児童館だけで使える状態か。(地委)

地域開放という概念はまだできていないため、ルール作りから検討していきたい。(長)

・理想としては、子供たちがいつでも土日は行ける居場所として、児童館が開館している方が良い。平日子どもたちの帰りが遅く、利用する時間も短いため、土日に行けると保護者も助かると感じる。(地委)

あと2人程度児童館職員が欲しい。(区委)

・地域に貸し出す際、場所の予約方法は、これまでの児童館と同じ方法か。(地委)

基本的にはその想定だが、公的私的な目的や内容とのバランスを考えてルール作りをしていきたい。場所が空いて誰も使っていない状態にならないように、地域開放や、開放しやすいように別の出入口を設ける等、工夫していきたい。(長)

・地域の施設に対する認識や周知する方法として、この施設がまず、子どものための施設だと、認識してもらう前提がないとトラブルが起こる可能性もある。(地委)

今の児童館では、子どもだけじゃない団体にも貸し出して、空手や卓球、ダンスは問題ないが、社交ダンスはハイヒールの跡や、白い粉がついてしまって、掃除が大変になる場合がある。(区委)

地域に対して周知する方法を工夫し、認識を間違えずにこの児童館のサポーターになってもらえるよう検討していく。(長)

・東側の住宅の方は、二階の保育園ができることによって、見られる抵抗感を感じる方もいる可能性がある。確認が必要。(区委)

今の保育園は、二階の東側で屋上テラスを使っている。抵抗感が少ないかもしれない。(事)

今回の計画の場合、形状も含めて近隣の方の印象も変わる可能性もあるので、注視して対応していく。(長)

【4. 検討委員会提言について】

・検討委員会としての提言の説明。(事)

施設の館庭と隣接するとあるが、館庭とあえて言わず、削除して良いと感じる。(長)

地域住民も自由に施設を利用できるとあるが、自由だと何でもできると勘違いをされないように、「十分に」で良いと思う。(地委)

子どもたちが公園を自由に「安全に」と追加すると良いと思う。(地委)

施設のハード面だけではなく、ワクワクする施設といったソフト面のコンセプトになることも提言の柱として、追加した方が良い。(区委)

コンセプトの部分を1番最初に合った方が良いのではないか。(地委)
ご意見を反映、検討して、基本構想報告書に付帯する提言とさせていただきます。(長)

【5.今後の予定について】

・3月下旬～4月上旬に基本構想を策定、区役所内報告をし、4月下旬～5月中旬に議会報告、基本構想説明会を行い、区ホームページへ基本構想報告書を掲載する。掲載前に検討委員へメールにて内容の確認を行う。5月中旬頃に基本設計へ移行していく。(事)

説明会を多くの方へ周知できるように、事前に回覧で回したり、町会長へご挨拶の方がスムーズだと感じる。(地委)

屋上の園庭について、近隣の方のご理解をいただけるような説明をしていただけるとありがたい。
(才保)

説明会の周知や理解を得る説明方法については、丁寧に行っていく。(長)

【6.閉会のあいさつ】

・4回開催の検討委員会では、地域の方々のご意見含め、色々な観点でご指摘やご意見をいただくことができた。子どもたちの多面的な意見を聞くことができ、区としてもありがたいことだと感じている。それをどう返していくのかも重要で、施設に反映させて、地域に素晴らしい施設ができるように、尽力していきたい。(長)

以上